

今日のテーマ

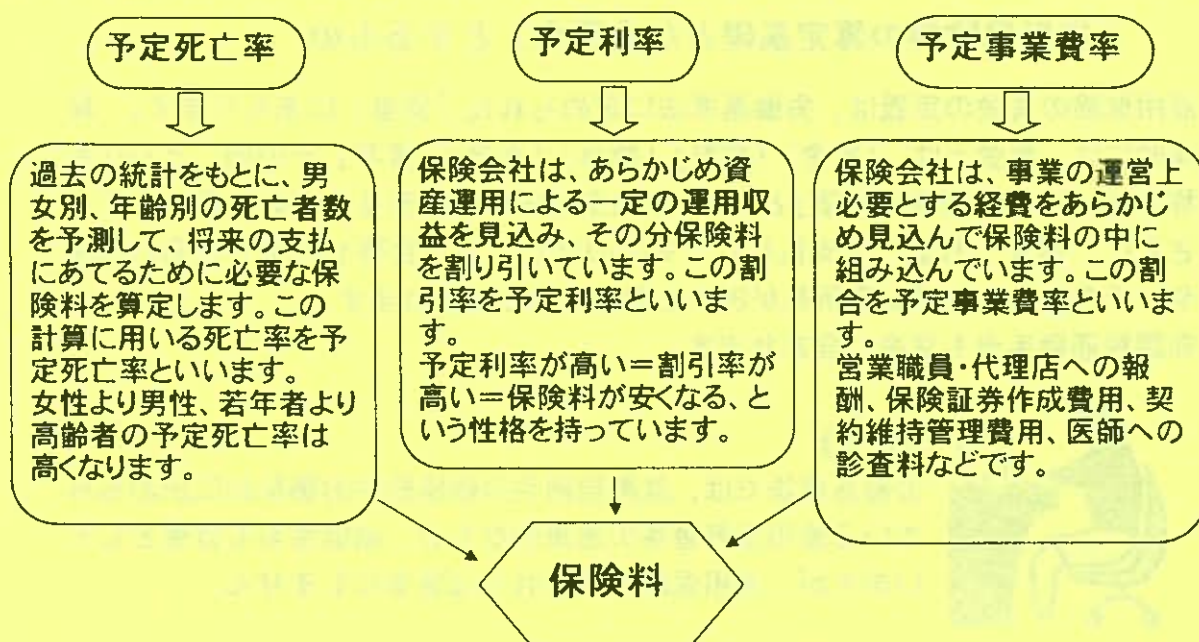
保険料は、どうなっている??



生命保険は、毎月（あるいは毎年）加入時に決めた期間まで一定額を支払います。
この保険料は、どのようにきまるのでしょうか？有利不利はあるのでしょうか？

<1> 生命保険の保険料は3要素からできています！

一般的には予定死亡率・予定利率・予定事業費率という3つの予定率にもとづいています



<2> 保険料の3要素の特徴は？

- * 予定死亡率 = 死亡率を高く設定すると、保険金支払を多く見積もることになります。
- * 予定利率 = 利率を高く設定すると、割引率を高く設定することになります。
- * 予定事業費率 = 事業費を高く見積もると、必要経費を多く見積もることになります。

これらをまとめると、次の表のようになります。

	設定方向	保険料	設定方向	保険料
予定死亡率	↑	↑	↓	↓
予定利率	↑	↓	↓	↑
予定事業費率	↑	↑	↓	↓

これらの3要素（予定率）は、基本のご加入後の変更はありません。

保険会社は、毎年の決算に3つの要素ごとに収支をまとめています。

その結果、剰余金があれば各契約に配当金を分配することで調整を行なっています。

予定利率については、たとえ運用実績が予定利率に及ばず配当金が無い場合でも、この割引分を契約者に対して保証しています。

したがって、「配当金がゼロ」の意味は、「予定利率を上回る部分がゼロ」であって「預貯金利息がゼロ」とは意味が異なります。

…この続きは、次回にお話します。

担当：渋谷 洋子